

MAX

取扱説明書

プロ用

このたびは、マックス釘打機コイルネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の手扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

警告

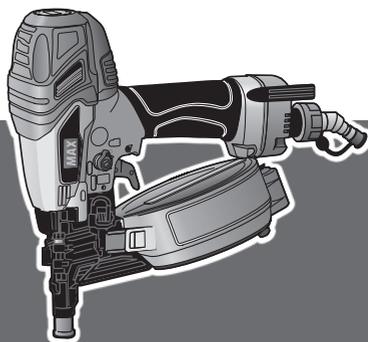
●使用前に必ず取扱説明書を読む。

この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

マックス釘打機コイルネイラ

HN-R38D1
CN-238D1

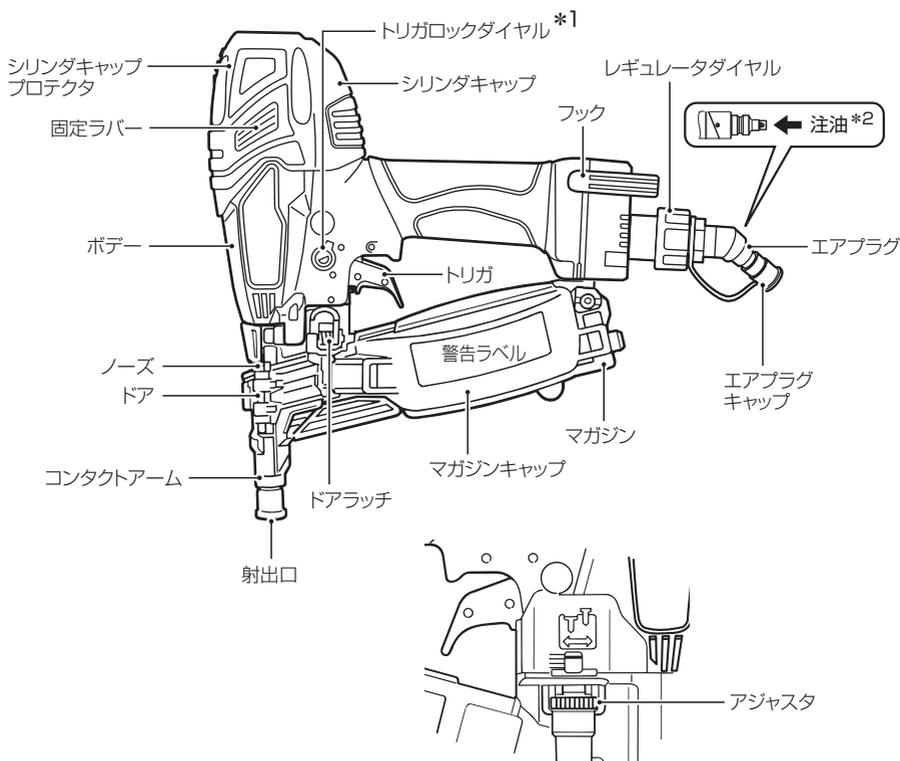


目 次

各部の名称	3
安全作業のために	4~13
仕様及び付属品	14
使用方法	15~21
ネイルの装填方法	15~17
打ち方	17~18
プラスチック連結帯の切り方	18
フックの方向の変え方	19
各種コンタクトトップの使い方	20~21
配管についての注意	22~23
エアホースの接続	24
アジャスタの調整と打込状態の確認	25~26
ネイルづまりの直し方	27
シリンダキャッププロテクタの取りはずし方	28
保守・点検	29
保証、アフターサービスについて	30
保証について	30
アフターサービスについて	30

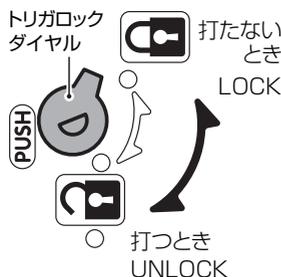
各部の名称

※イラストはHN-R38D1で説明しています。



*1 トリガロックダイヤル

押し回すことでロックとアンロックを切り替えます。



*2 注油



注意

指定オイルを注油する

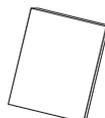


マックス指定
オイル
(別売品)

付属品



保護メガネ



取扱説明書



ジェットオイル
(油入)

※中ふたを外して
使用してください。

※出荷時キャリングケース内に収納されています。

▲ 安全作業のために

本機は、木材およびそれに類した材料、石膏ボード、波形トタン等を木材に留めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

■ 表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**▲ 警告**、**▲ 注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、**▲ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

絵表示について



禁止

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。
この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

作業前

▲ 警告

使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

釘打ち作業をする時、打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると失明するおそれがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。



防音保護具を着用する。

釘打ち作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。



作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

HN-R38D1使用の際は、スーパーネイラ専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。

本機は使用性能を向上させるため、使用圧力を従来の釘打機より高く設定しております。本機使用に際しては、専用エアコンプレッサ、専用エアホースが必ず必要です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと、異常燃焼をおこし、爆発の危険を伴いますので、専用エアコンプレッサ、専用エアホース以外は絶対に使用しないでください。

CN-238D1使用の際は、エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

本機を絶対に改造・分解しない。

本機を改造・分解すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

エアホースを接続するときは誤って作動させないように下記のことを厳守する。

- ・トリガをロック（引けないよう固定）する。
- ・射出口・コンタクトアームに触れたり、対象物に当たった状態にしない。
- ・射出口を絶対に人体に向けない。

固定ラバーがしっかり装着されている事を確認する。

固定ラバーがはがれているとシリンダキャッププロテクタを持った時に本体が落下する恐れがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

⚠ 安全作業のために

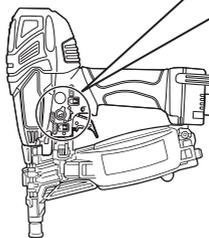
⚠ 警告

安全装置について

釘打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●トリガロック装置

本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）することにより作動できないようにすることができる装置です。



押し回すことでロックとアンロックを切り替えます。

トリガロックダイヤル

打たないとき
LOCK

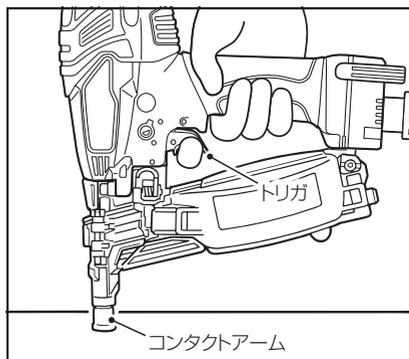
打つとき
UNLOCK

作業を行う際はトリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットしてから作業を開始してください。

ネイルを打っているとき以外はトリガロックを押し回し、LOCK（ロック）の位置にセットしエアホースをはずしてください。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではネイルは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当たる動作とトリガを引くという動作が重なってはじめてネイルは発射されます。



⚠ 安全作業のために

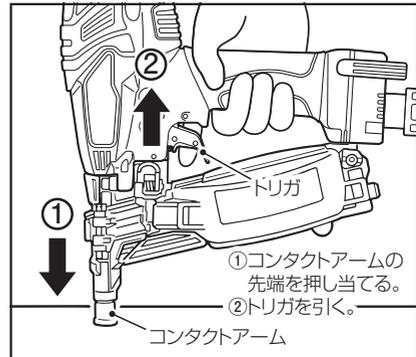
⚠ 警告

●シーケンシャルトリガ (別売部品) について

本機にはシーケンシャルトリガが別売部品として用意されています。シーケンシャルトリガは、コンタクトアームを対象物に押し当てた後、トリガを引く単発打ち専用の構造になっておりますので狙った場所に一発一発より一層確実に打つことができます。また、その結果として偶然の思わぬ事故から身を守り安全に作業することにつながります。

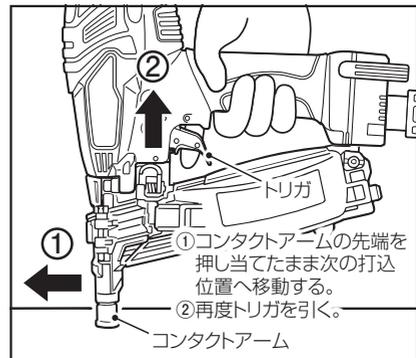
打ち方

- ①ネイルを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を押し当ててからトリガを引くとネイルは発射されます。



またコンタクトアームを押し付けたまま次の打ち込み位置へ移動して再度トリガを引いてもネイルを発射することができます。

- ※トリガを引いたままで再度コンタクトアームを対象物に当たってもネイルは発射されませんので、トリガを戻し①の動作を繰り返して行ってください。



- シーケンシャルトリガの取付けは、お買い求めの販売店またはマックスエンジニアリングサービス㈱に御相談ください。

使用前に安全装置が完全に作動するか必ず確認する

点検により異常が発見された場合、ただちに使用を停止してください。

修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と機能を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

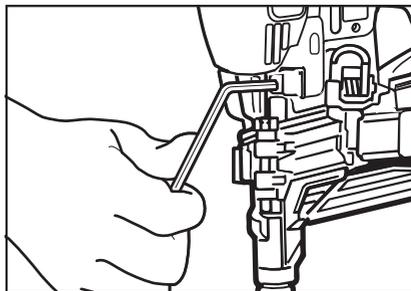
⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

1. エアホース接続前の点検

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

- ボルトの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
- 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
- トリガをロック (引けないよう固定) できるか。
- コンタクトアームがスムーズに動くか。
- シリンダキャップの止め付けボルトはシリンダキャッププロテクタを取り外して確認してください。取り外し方は28ページを参照してください。



不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス(株)へ点検・修理に出してください。

2. エアホース接続時の点検

エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

- エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
- エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

異常のある場合はお買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス(株)に点検・修理に出してください。

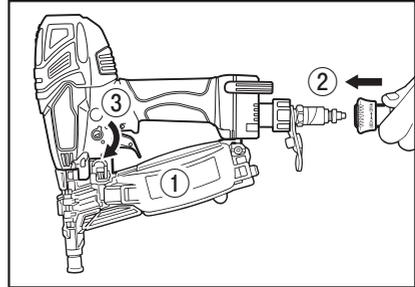
⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

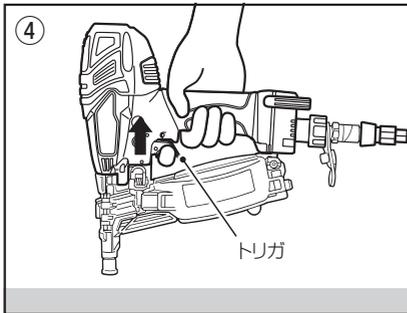
3. 安全装置の点検

ネイルを打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。

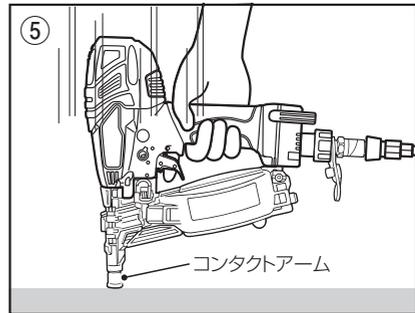
- ①作業に入る前に本機にネイルが装填されていないことを確認してください。
- ②本機にエアホースを接続します。
- ③トリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットしてください。



- ④まず、トリガだけ引いてください。



- ⑤次にトリガから指を離し、コンタクトアームを材料に押しあててください。



このとき、本機が作動する場合は安全装置が異常です。

そのまま使うと、事故や破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

安全装置の確認の際にはコンタクトアームの先端付近には絶対に手を近づけない。

万が一安全装置に異常があった場合、思わぬけがをする場合があり、非常に危険です。

⚠ 安全作業のために

作業中

⚠ 警告

指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。(使用ネイルは14ページ参照)

作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だと、つまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

使用空気圧を必ず守る。

本機の使用圧力範囲はHN-R38D1が1.8~2.3MPa(約18~23kgf/cm²)、CN-238D1が0.4~0.8MPa(約4~8kgf/cm²)です。対象物によりその範囲内で調節し、使用してください。HN-R38D1は2.3MPa(約23kgf/cm²)、CN-238D1は0.8MPa(約8kgf/cm²)を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。

射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。



向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打ち作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。



射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイルや木の節などに当たった場合ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

機体の反発に注意する。

硬い所に打った場合、機体がはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。

▲ 安全作業のために

▲ 警告

揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

移動するとき、作業を中断するとき、また、フック使用時は、必ずトリガをロックし、エアホースをははずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には、思いがけない事故につながります。また、作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すとき、誤ってネイルを発射するおそれがあり、危険です。

落下やそれに類する衝撃を機械本体に与えた場合、安全装置等が正常に作動する事を確認してから作業を再開する（6ページ参照）。

異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

次のときは、本機を使用しない。 事故の原因になります。

- ・ 疲れているとき、身体が不調なとき。
- ・ 酒類や薬物を飲んで正常な動作ができないとき。

用途にあった作業に使用する。

本機は木材または類似の材料への釘打ち作業を目的とした工具です。指定された用途以外には使用しないでください。

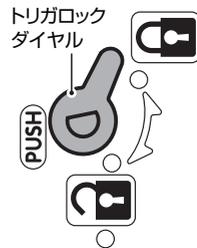
子供を近づけない。

作業者以外、釘打機やエアホースに触れさせないでください。作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

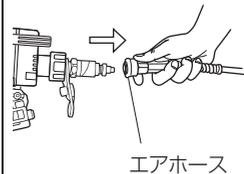
作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

移動するとき
作業を中断するとき

❗ トリガをロックする



❗ エアホースを外す



⚠ 安全作業のために

作業後

⚠ 警告

作業終了時には必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業終了時には必ずネイルを抜き取る。

ネイルをマガジン内に残しておく、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずマガジン内のネイルを抜きとってください。

本機は注意深く手入れをする。

安全に能率よく作業していただくために、本機は常に手入れをし、清潔に保ってください（29ページ参照）。

使用しない場合はきちんと保管する。

乾燥した場所で、子供の手の届かない高いところ、または鍵のかかるところに保管してください。

⚠ 安全作業のために

屋外作業について

⚠ 警告

足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打ち作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。



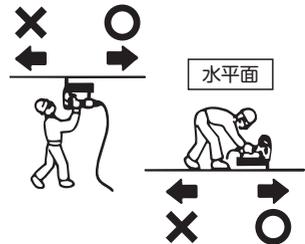
直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

打ち方

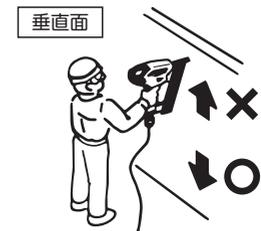
水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打ち作業を行ってください。
安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。
後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。



垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打ち作業を行ってください。
下から上に打つと足場などに頭をぶつけるなどの危険があります。
※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。



傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打ち作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはず危険があります。



仕様及び付属品

商 品 名	マックス釘打機コイルネイラ	
商 品 記 号	HN-R38D1	CN-238D1
寸 法	(H) 251 × (W) 106 × (L) 313 mm	(H) 251 × (W) 106 × (L) 250 mm
質 量	1.3kg	1.2kg
ネ イ ル 装 填 数	200本	
使用空気圧範囲	1.8~2.3MPa(約18~23kgf/cm ²)	0.4~0.8MPa(約4~8kgf/cm ²)
使用エアコンプレッサ	マックス スーパーエア・エアコンプレッサシリーズ	マックス エアコンプレッサ
使用エアホース	マックススーパーエア・ホースシリーズ (内径4mm以上、長さ30m以内)	マックスエアホース (内径7mm以上、長さ30m以内)
使用オイル	タービン油 2種 ISO VG32 (JIS K 2213)	
安全装置	メカニカル方式、トリガロック装置	
装 備 品	コンタクトトップA、コンタクトトップC	
付 属 品	保護メガネ、ジェットオイル(油入)、六角棒スパナ4、 コンタクトトップB、ネイルサポート	



警告

●指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となります。

〈使用ネイル〉

連 結 方 法		ブラシート連結		連 結 方 法		ブラシート連結	
連 結 本 数		200本連結		連 結 本 数		200本連結	
分	類	足長さ(mm)	商品名	分	類	足長さ(mm)	商品名
ステンレス スクリュ釘	カップ釘	19	FSP19P7-S	メッキ釘	普通釘	19	FCP19P7メッキ
		25	FSP25Q9-S			25	FCP25Q9メッキ
		32	FSP32T3-S			32	FCP32T3メッキ
		38	FSP38T3-S			38	FCP38T3メッキ
	カラー 釘	32	FSP32T3-Sカップ		スクリュ釘	25	FSP25Q9メッキ
		38	FSP38T3-Sカップ			32	FSP32T3メッキ
		25	FSP25Q9-Sシロ			38	FSP38T3メッキ
		32	FSP32T3-Sシロ			32	FCP32T3カップ
丸頭	25	FSP25Q9-S OH	フロア用	38	FSP38Q9フロア		
	32	FSP32T3-S OH		25	FRP25T3メッキ		
	25	FRP25T3-S		25	FRP25T3メッキ カラー		
	32	FRP32T3-S		32	FRP32T3メッキ		
ステンレス リング釘	カラー釘	25	FRP25T3-Sカラー	リング釘	32	FRP32T3メッキ カラー	
		32	FRP32T3-Sカラー		32	FRP32T3メッキ カラー	
	丸頭	25	FRP25T3-S OH		真鍮釘	32	FCP32T3-OHシンチュウ
		25	FRP25T3-S			25	FCP25V0銅
プリント ステンレス スクリュ釘	カラー スクリュ釘	25	FSP25P7-Sプリント カラー	鉄普通釘	25	FCP25T3	
		32	FSP32Q9-Sプリント カラー		32	FCP32T3	
ケーシング ステンレス釘	カラー スクリュ釘	25	FSP25P7-Sケーシング カラー		38	FCP38T3	
		25	FSP25P7-Sケーシング カラー		25	FCP25T3カラー	
				鉄カラー釘	32	FCP32T3カラー	
					25	FCP25P7カップ カラー	
				プリント鉄釘 カラー普通釘	25	FCP25P7プリント カラー	
				ケーシング鉄釘	25	FCP25P7ケーシング カラー	
				ブラ釘	25	FCP25V0ブラ	

※ラインナップは予告なしに変更する場合があります。
 ※カラーについてはサイズによりご用意している種類が
 異なります。お買い求めの販売店様にご確認ください。

※上記仕様は改良のため、主要機能および形状などが変更されることがありますのでご了承ください。

使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

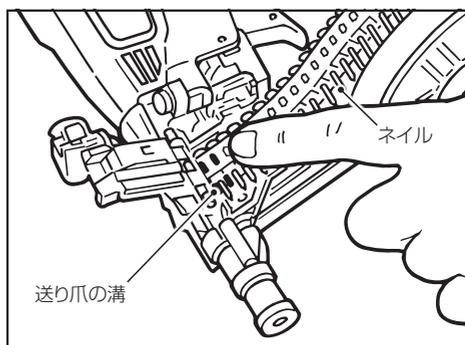
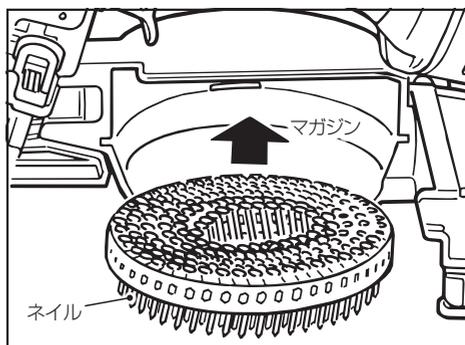
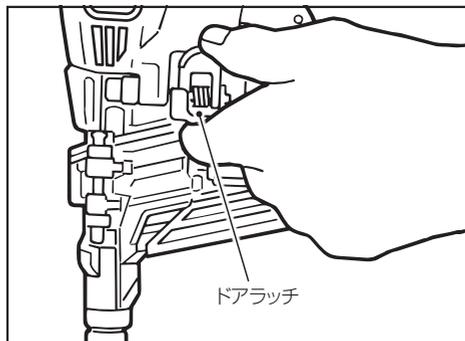
ネイルの装填方法

⚠ 警告

- ネイルを装填する時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

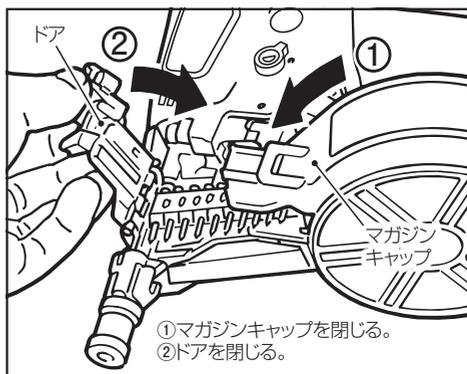
手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ドアとドアラッチに指をかけてドアラッチを下へ押しつけながら左へ開きます。
- ③マガジンキャップを右へ軽く回して開きます。
- ④ネイルをマガジン内に図のように入れます。
- ⑤ネイルを引き出し、送り爪の溝にセットします。

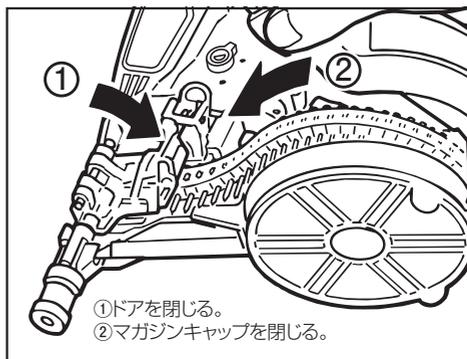


⑥マガジンキャップを閉じます。

⑦ドアとドアラッチに指をかけて、ドアラッチを下へ押しつけながら、ドアを右へ回して完全に閉じます。



※⑥と⑦の操作は反対の手順で行うことができます。



〈足長さ19mmのネイル使用の場合〉

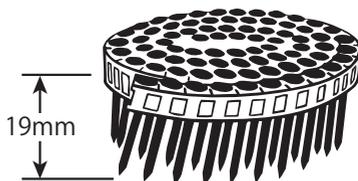
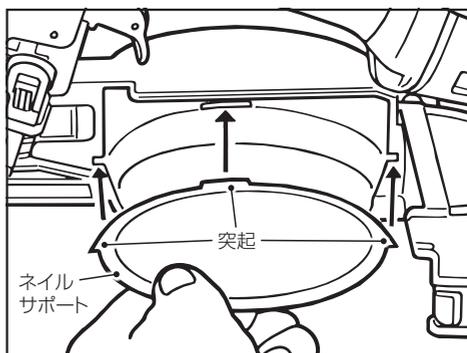
上記ネイルを使用する時は、必ず「ネイルサポート」をマガジンに取り付けてください。

手順

ネイルサポートの突起をマガジンの穴に合わせて取り付けてください。

⚠ 注意

- ネイルサポートを取り付けずに足長さ19mmのネイルを使用すると、ネイルがからみ、送り不良が発生します。



FCPコイルネイル

⚠ 警告

● 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

本機は、トリガを引くだけでネイルが発射されます。ネイルを打ち込む時以外はトリガに指をかけないでください。誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。ネイルを打ち込む時は射出口を確実に対象物に当ててからトリガを引いてください。

● 射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

本機は釘打作業の内容によって効果的な使い方ができるよう「単発打ち」と「連続打ち」切換えが打ち方で使い分けできる機構を有しています。

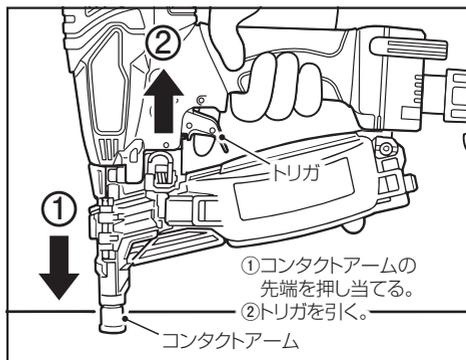
単発打ちの操作方法

単発打ちとは、コンタクトアーム先端を打込対象物に押し当ててからトリガを引く操作でネイルを1本しか打たない打ち方です。主に石膏ボード等、ネイル頭を面いちに合わせたり、仕上りを重視する釘打作業に適しています。

手順

トリガロックを UNLOCK (アンロック) の位置にセットします。

- ①ネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端をしっかりと押し当てたままトリガを引きます。



※単発打ちでトリガを引いたまま、再度コンタクトアームを打込対象物に当ててもネイルは発射されません。続けて連続打ちする場合は、トリガから指をいったんはなしてから、連続打ちの操作を行ってください。

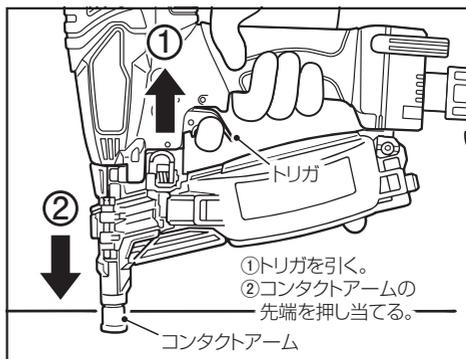
連続打ちの操作方法

連続打ちとは、トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアーム先端を打ち当てる操作をくり返すことで連続的に釘打作業ができる打ち方です。主に下地打ちのときに適しています。

手順

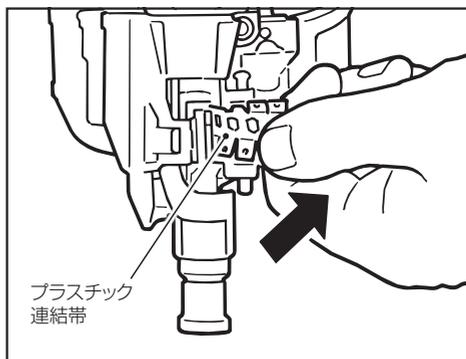
トリガロックを UNLOCK (アンロック) の位置にセットします。

- ①トリガを引いたままネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端を打ち当てます。この操作をくり返すことで連続打ち作業ができます。



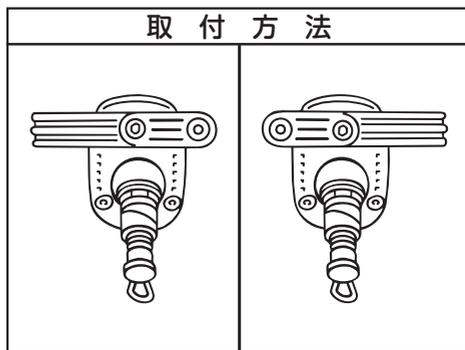
プラスチック連結帯の切り方

ブラシート連結ネイルを打っていると、ノーズよりネイルのプラスチック連結帯がでてきますので→の方向に引きちぎってください。

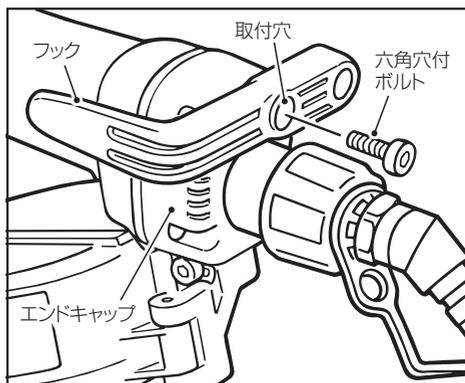


フックの方向の変え方

フックは2方向に向きを変えることができます。



方向を変えるときは、取付の六角穴付ボルトを六角棒スパナ4で外し、フックの位置を調整してから再度組み付けてください。

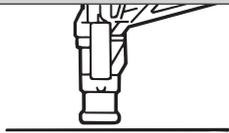
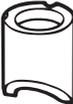
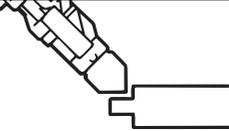
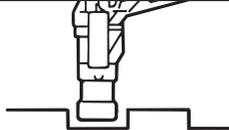


各種コンタクトトップの使い方

本機には用途に応じて4種のコンタクトトップが用意してあります。

警告

●各種コンタクトトップ着脱の際は、必ずトリガをロックし、エアホースをははず。

名称	用途	形状	使用方法	備考
コンタクトトップA	平打ち			装備品
コンタクトトップB	フロア打ち			付属品
コンタクトトップC	谷打ち			装備品
コンタクトトップD	加工打ち			別売品

本機には、フロア材のさね打ち用のコンタクトトップBが用意してあります。

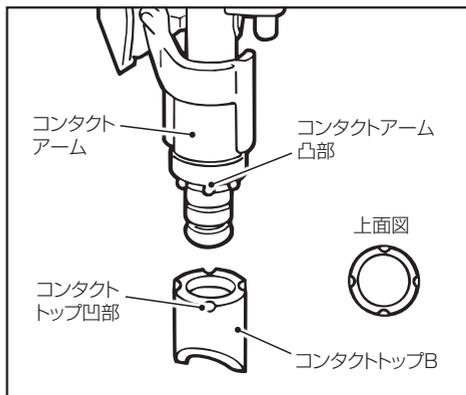
●コンタクトトップBの取付及び使用方法

取付方法

コンタクトアーム凸部がコンタクトトップ凹部に確実にハマり込むように押し入れます。

※確実にハマっていないとコンタクトトップBがグラツいたり、抜け落ちることがあります。

※コンタクトトップBは縦横の2方向に取り付けることができます。

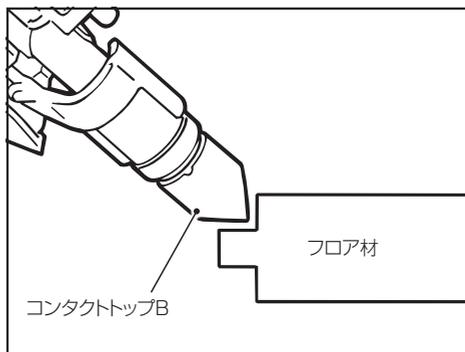


使用方法

フロア材のさねの部品にコンタクトトップBの先端を合わせて打ってください。

⚠ 注意

- 堅いフロア材の場合、十分に打ち込めない場合があります。
- さね打ち作業は45°から55°の角度でお使いください。それ以外ではフロア材を傷める場合（膨らみ、板割れ、破損等）があります。

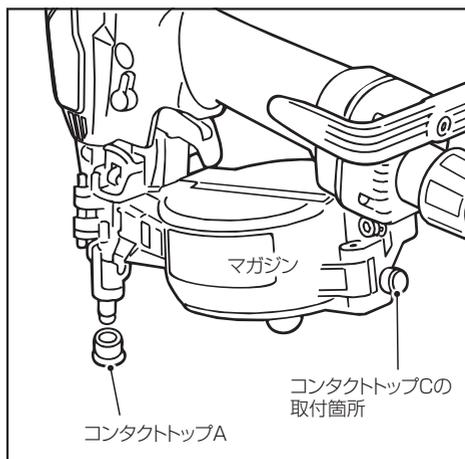


●コンタクトトップA及びCの取付方法

取付方法

コンタクトアーム先端の凹部にコンタクトトップ内側の凸部がはまり込むまで押し込みます。

※コンタクトトップCは出荷時マガジン後部に取付けてあります。



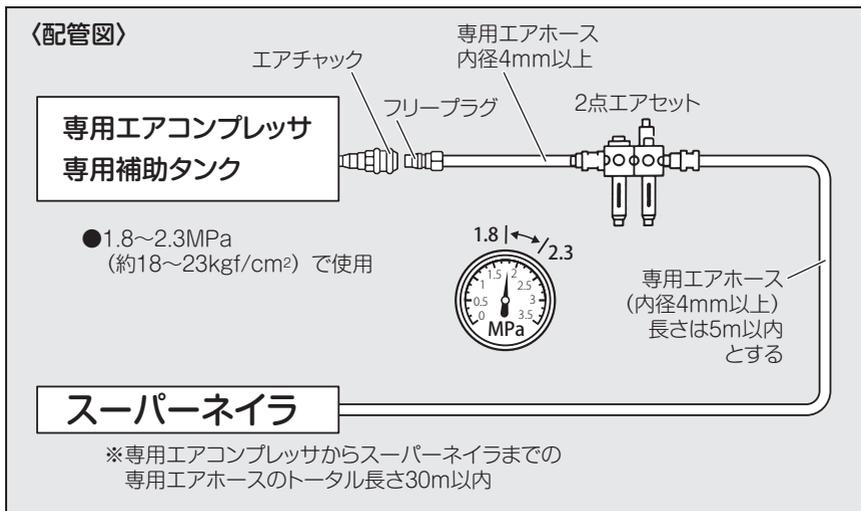
石膏ボード等を打つ際、表面に傷をつける恐れがある時は、コンタクトトップA、コンタクトトップCをコンタクトアームの先端に取付けてください。

配管についての注意

〈HN-R38D1〉

警告

- 本機使用の際は、スーパーネイル専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。本機は、使用性能を向上させるため、使用圧力を従来の釘打機より高く設定しております。使用に際しては、専用エアコンプレッサ、専用エアホースが必要です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、専用エアコンプレッサ、専用エアホース以外は絶対に使用しないでください。また、本機、専用エアコンプレッサ、専用エアホースとも、フリープラグ、エアチャックが専用のものとなっており市販の物とは互換性がありませんので、他の機器との接続はできない仕様になっております。改造・加工等して他の機器を使えるように絶対にしないでください。
- 動力源は必ずマックス専用エアコンプレッサを使用してください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）等は絶対に使わないでください。
- エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- 接続するエアホースもマックス専用エアホースを使用してください。専用エアホースは内径4mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径4mm以上、長さ5m以内で使用してください。



〈CN-238D1〉

警告

●本機使用の際は、エアコンプレッサを必ず使用する。

圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

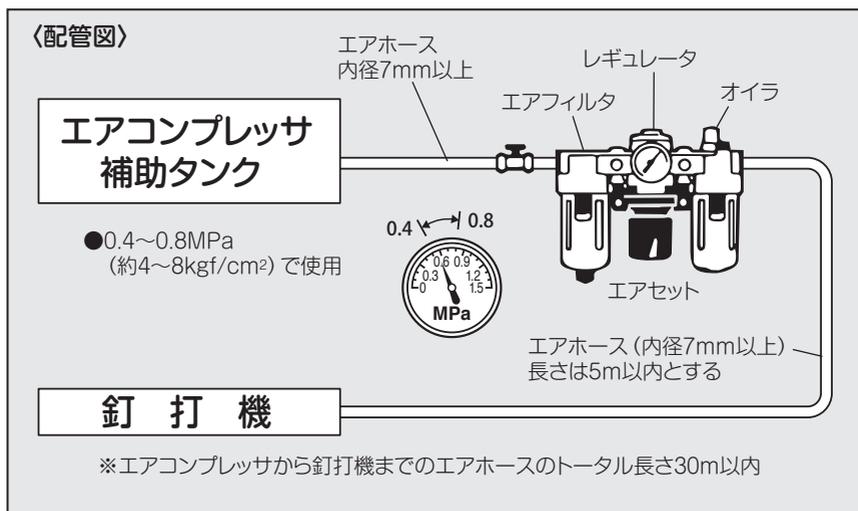
●動力源は必ずマックス専用エアコンプレッサを使用してください。

高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）等は絶対に使わないでください。

●エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。

●エアホースは内径7mm以上、長さ30m以内で使用してください。

エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径7mm以上、長さ5m以内で使用してください。



エアホースの接続

警告

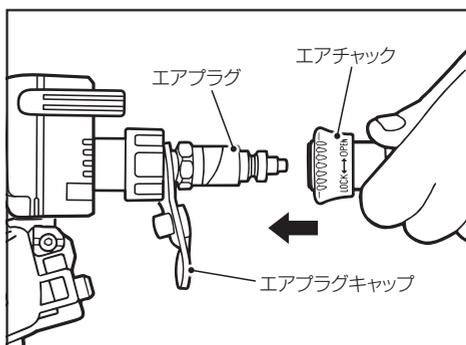
●エアホース接続の時は必ず厳守する。

エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

- トリガをロック (引けないよう固定) する。
- トリガに指をかけない。
- コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
- 射出口に触れたり、対象物に当たった状態にしない。
- 射出口を人体に向けない。

手順

- ①トリガをロックします。
- ②エアプラグからエアプラグキャップをはずします。
- ③エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。



※HN-R38D1はエアホースをつなぐとき、エアの流入に伴いまれに異音（ブー音やシュー音）がホース接続時から2秒程度することがありますが、これは故障ではありません。

またコンプレッサの取り出し圧力が使用設定圧外（1.8MPa未満または2.3MPa以上）の場合、その異音が止まらないことがあります。その際には取り出し圧を使用設定圧内（1.8MPa～2.3MPa）に調整した後、再度エアホースを接続しなおしてください。それでも異音が止まらない場合には、レギュレータの故障・もしくは本機体の故障が考えられますので、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス株式会社にご相談ください。

警告

- 作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

アジャスタの調整と打込状態の確認

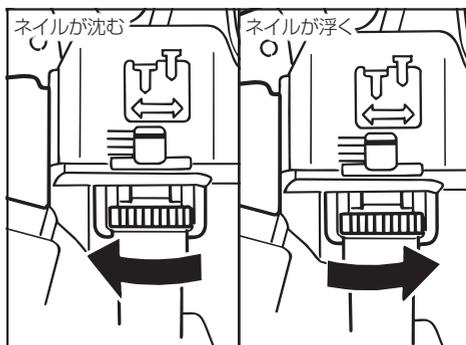
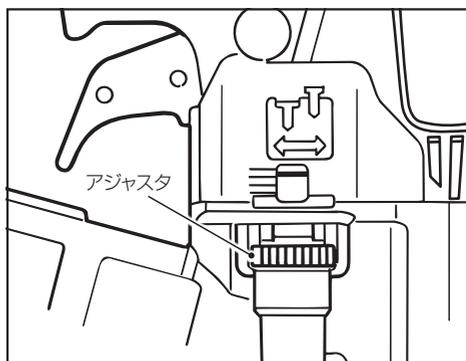
本機には打込深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎは極端に保持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整してください。

警告

- 調整の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- HN-R38D1は2.3MPa(約23kgf/cm²)、CN-238D1は0.8MPa(約8kgf/cm²)を超えた圧力では絶対に使用しない。
- 調整する時は射出口を下に向け、顔や手、足などの人体がないことを確認する。

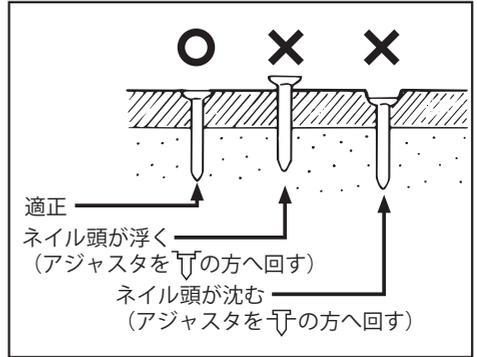
手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ネイルを装填します。
- ③エアコンプレッサの圧力をHN-R38D1は2.0MPa(約20kgf/cm²)、CN-238D1は0.6MPa(約6kgf/cm²)にセットします。
- ④本機にエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをUNLOCK(アンロック)にセットします。
- ⑤アジャスタの調整(ネイルの打込調整)の前に一度テスト打ちしてください。
打込みたい深さを確認します。
- ⑥トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ⑦ネイルを取り出します。
- ⑧アジャスタを回し調整します。
※アジャスタを1回転させると約1mm上下します。
- ⑨本機にネイルを装填します。



⑩エアホースを接続し、トリガロックダイヤルをUNLOCK (アンロック) にセットしてさらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。

⑪適正であれば調整完了です。不適正であれば⑥～⑩の手順を繰り返してください。

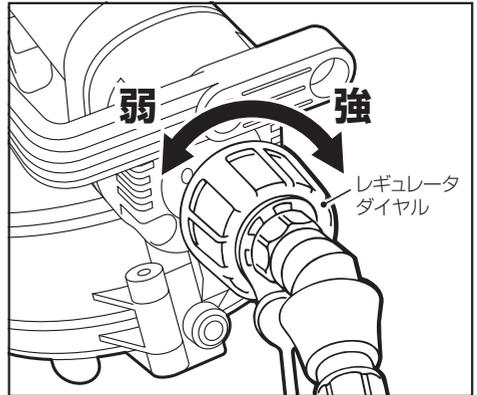


〈HN-R38D1〉

⑫適正状態が得られない場合は、本機のレギュレータダイヤルを回し、打ち込み力を調整してください。

※レギュレータダイヤルは出荷時に中間位置にセットしてあります。

※レギュレータダイヤル調整時に異音が発生することがありますが、これは圧力調整による排気音であり、故障ではありません。



〈CN-238D1〉

⑫適正状態が得られない場合は、エアコンプレッサの空気圧を調整してください。

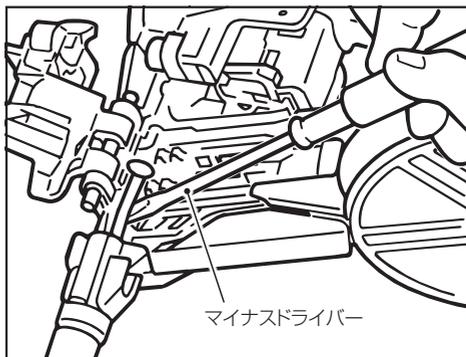
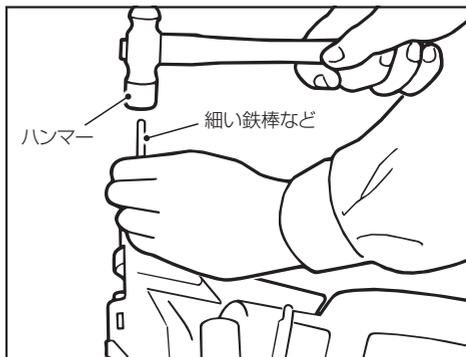
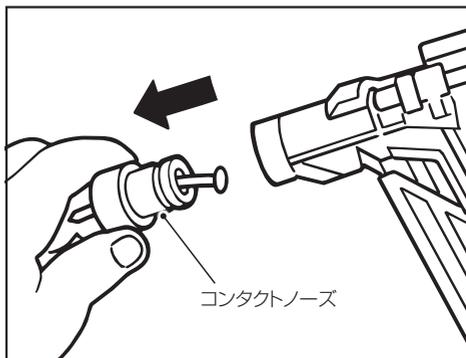
ネイルづまりの直し方

⚠ 警告

- ネイルづまりを直す時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずします。

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ネイルをマガジン内より抜き取ります。
- ③コンタクトノーズをはずします。
- ④コンタクトノーズにつまったネイルを取り除きます。
- ⑤ノーズ内部にネイルがつまった場合は、ドアを開き、射出口より細い鉄棒を入れ、ハンマーでたたか、マイナスドライバーで取り除きます。
- ⑥コンタクトノーズを装着します。
- ⑦ネイルを送り爪に再度確実にセットして、ドアを閉じます。



シリンダキャッププロテクタの取り外し方

手順

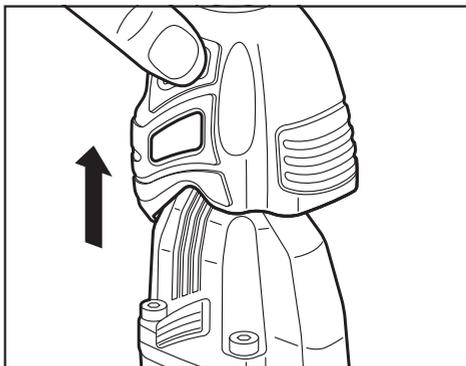
- ①シリンダキャッププロテクタに指を差し入れ、左右の固定ラバーから外します。



- ②上方向にシリンダキャッププロテクタを引っ張り取り外します。

⚠ 注意

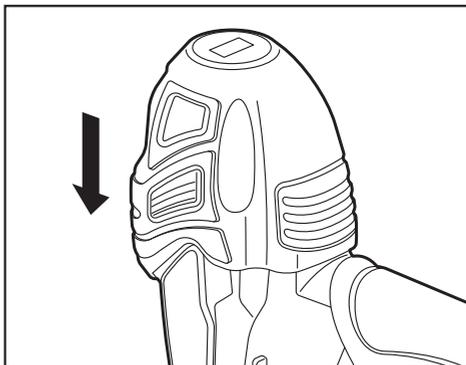
- 固定ラバーから外さずに無理に引張らないでください。固定ラバーがはがれてシリンダキャッププロテクタを固定できなくなります。



- ③取り付ける場合は、シリンダキャッププロテクタを押し込み、固定ラバーがしっかりとハマっている事を確認してください。

⚠ 警告

- 固定ラバーがしっかりと接着されている事を確認する。



シリンダキャッププロテクタをお求めの際には、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス(株)にご相談ください。

保守・点検

本機を大切に使う

落したり、ぶついたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶついたり、叩いたりしないでください。



繰り返しカラ打ちをしない

ネイルを装填しないでカラ打ちを繰り返し行うと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

エア圧力を調整し、使用する

打込対象物に合わせ必ず空気圧を調整し、使用してください。
対象物に対して空気圧が高すぎるまま使用しますと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

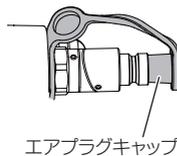
指定オイルを注油する

オイルはタービン油2種ISO VG32 (JIS K 2213) を必ずお使いください。使用前にフリープラグの小穴からオイルがあふれる程度に注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



エアプラグキャップの使用方法

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。



エアプラグキャップ

エアコンプレッサのタンク、補助タンクの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンクに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。

定期的に清掃する

本機の性能を維持するために清掃を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱にお申し付けください。

清掃方法

- ・砂やゴミがついたらエアダスタで飛ばしてください。
- ・トリガの裏もエアダスタで飛ばしてください。
- ・布できれいに拭いてください。

射出口(コンタクトアーム)の点検

トリガをロックし、エアホースを外した状態で射出口(コンタクトアーム)がスムーズに動くか確認してください。

射出口(コンタクトアーム)の可動部は掃除し、ときどき付属の油を注油してください。油を注ぐことにより、スムーズに動作すると同時にさび止めにもなります。

ピストンOリングの点検

ピストンOリングは、消耗品です。ドライバがズルズルと落ちてきたら、お買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス㈱にお申し付けください。

作業後の保管

- ※作業後はネイルを全部抜き取ってください。
- ※エアプラグにエアプラグキャップをさし込むときは、機体をさかさにして十分水抜きしてからさし込んでください。
- ・作業後は、機体の内部にごみやほこりが入らないよう、エアプラグキャップをエアプラグにさし込み、ケースに入れて保管してください。
- ・長期間使用しない場合は、さび防止のため、エアプラグから給油し、2,3回空打ちして油を内部に行き渡らせてください。
- ・鉄の部分やバルブの部分には油をうすく塗布してください。
- ・油は、付属の油をご使用ください。
- ・お子様の手の届かない、乾燥した場所に保管してください。

保証、アフターサービスについて

保証について

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。
- 定期交換部品については、保証対象外となります。

アフターサービスについて

- 本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。
修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

●マックスお客様ご相談ダイヤル

0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

マックス株式会社

●販売拠点等

本	社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札	支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙	支店	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121
盛	営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019) 621-3541
東	支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多	営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東	営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千	営業所	〒284-0001	千葉県四街道市大日1870-1	TEL (043) 422-7400
群	営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
長	営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377
新	営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
名	支店	〒462-0819	愛知県名古屋市中区北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
静	営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
大	支店	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6444-2031
京	営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
神	営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4ハーバースカイビル1F	TEL (078) 367-1580
沖	営業所	〒901-2127	沖縄県浦添市屋富祖1-5-11	TEL (098) 875-3577
広	支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福	支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
南九州	営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
マックス販売株式会社	本社	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5346
埼玉	営業所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
横浜	営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
金沢	営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
岡山	営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
四国	営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
松	営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL (089) 913-1893

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 237-0778
新潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市中区北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京滋サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6446-0815
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4101368
180129-00/00



便利メモ

お名前				商品名	HN-R38D1・CN-238D1
お買い上げ日	年	月	日	製造番号	
販売店名				☎	